

予算特別委員会委員長報告（R2.3.24）

予算特別委員会に付託されました、
令和2年度 亀岡市 各会計予算について、
審査の経過概要と結果を報告いたします。

令和2年度予算は、市長から2月21日に
提案され、議会としては3月4日に予算特別委員会を
設置し、3月10日から6日間にわたり、
全体会 及び 分科会において審査を行いました。

各分科会では執行部に出席を求め、
順次説明を受ける中、真に市民のための
効果的な予算となっているかを第一に考え、
積極的かつ 慎重に審査を行いました。

審査では、終始活発に詳細な質疑を行い、
各部・室ごとの論点を整理する中で、
議論を深めていきました。

16日には、予算特別委員会全体会を開き、
各分科会において「なお疑義^{ぎぎ}のあるもの」
「掘り下げ調査すべきもの」
「議案の賛否に影響するもの」を抽出した
9項目に対する考え方等について、
市長に いただきました。

そして、17日には、各分科会委員長から
審査結果報告を受け、討論の後、全体会として
各議案の採決を行ったところであります。

これより、審査の結果について報告します。

まず、**第1号議案、一般会計予算**は、

地方財政を取り巻く諸情勢が依然として厳しく、
また、本市の財政状況も予断を許さない状況の中、
かめおかネクストステージへの更なる飛躍に繋げる^{つな}
ターゲットイヤー予算として、将来にわたって持続
可能な財政運営を図ることを基本に、対前年度比
0.8%減額の予算が編成されたものであります。

歳入面において、市税は、税制改正により
税率の引き下げが実施され、法人市民税の減収が
見込まれますが、新築・増築家屋の増加による
固定資産税の増額が見込まれています。

市税全体としては、対前年度比0.4%減額の
100億円となっていますが、
前年度とほぼ同水準を維持しています。

また、地方消費税交付金や、
ふるさと力向上寄附金の増収を見込むとともに、
各事業における特定財源の確保など、
できる限りの収入確保に努められています。

歳出面においては、行政ニーズが多様化し、
様々な課題が山積する中で、

「子育て、教育で憧れのまちへ」

「まちの新たな魅力を発信」

「世界に誇れる環境先進都市へ」

「安全で安心して暮らせるまちへ」

を目指したそれぞれの重点事業を中心に、
予算が計上されています。

分科会審査を進める中で、予算特別委員会として
取りまとめた、市長質疑9項目の主な内容は、

1. 「離れ」にのうみは観光振興施設へ切り替える
べきとした決算事務事業評価結果が反映されて
いないが、今後の事業運営の見通しについて。

2. 頻発する自然災害やコロナウイルスなどにより、
突発的な財政出動や税収減が想定される中、持続可能
な財政運営の考え方について。また、市民福祉の増進
のため重要な諸課題の優先順位をどのように考え、第
5次総合計画にどのように反映させるのかについて。

3. かめおか霧の芸術祭は、市民が理解し、感動を与えられている事業なのかという声があるが、市長が目指す方向性について。
4. NPO法人に委託している、隣保館デイサービス事業において、これまで指摘要望してきた実費負担分の使途が明らかにされないことについて。また、今回プロポーザルを行った結果の所見について。
5. 既存の教育効果のある教材を使う時間が確保できていない中、京都スタジアム・大河ドラマ館等の見学はどの程度の効果があるのか。また、コロナウイルスの影響により、今後、授業時間数の不足が見込まれた場合、事業実施について柔軟に対応する考えについて。
6. FLY BAG生産に係る拠点整備の今後の事業展開の構想について。また、プラスチック製レジ袋の提供禁止に関する条例施行に向けた、シンポジウムのメンバー構成や実施方法について。

7. 子どもの貧困の連鎖を断ち切るための、
全庁横断的なプロジェクトチームの具体的な体制と
取り組み内容について。

8. 家族営農等の小規模農家や新規就農を振興する
ために、予算をしっかりと計上することが重要であるが、
その所見について。また、安心して農業を行えるため
に、総合的にマネジメントできる人材の今後の対策に
ついて。

9. 森林環境税等を有効に活用し、
林業に携わりやすい環境づくりが大切であり、
防災の観点からも、健全な山林の保全が求められるが、
今後どのように林業の担い手を育成し、山林を保全し
ていくのかについて。
でありました。

これらについては、一括答弁の後、再質疑を行い、
予算の提案者である市長と、十分な議論に
努めたところであります。

そして、討論では、

「財政状況が厳しい中、不要不急の事業が含まれており、事業をしっかりと精選し取捨選択すべき」とした、反対討論がありました。

一方、

「府立京都スタジアム等を、にぎわいの拠点とし、本市の魅力を幅広く発信できる予算となっている」

「健康・観光・環境施策で、バランスのとれた市民福祉増進につながる予算が計上されている」

「財政状況が厳しい中、市税は100億円をキープし、積極的かつ大胆な予算案である」

とした賛成討論がありました。

討論の後に、採決を行い、採決の結果は**賛成多数**をもって、**原案可決**すべきものと決定しました。

なお、

- ・文化振興経費予算においては、かめおか霧の芸術祭の事業内容について、市民理解が得られるよう、また、これ以上、経費の増額がないように、期間を決めて取り組むこと。

- ・ふるさと学習推進経費予算においては、新型コロナウイルスの影響により授業時間数の不足が見込まれた場合は、京都スタジアム・大河ドラマ館等見学事業の実施について、中止も含め、柔軟に対応すること。

以上2点について、附帯決議案が提出され、
全員賛成で可決したものであります。

次に、第2号議案、

国民健康保険事業特別会計予算は、

国民健康保険被保険者の疾病等しっぺいに関して、
必要な保険給付を行うための経費であり、
療養給付費、高額療養費が主な内容であり、
別段異論なく、採決の結果は、
全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、第3号議案、

休日診療事業特別会計予算は、

休日急病患者に対する診療事業を行う経費であり、
別段異論なく、採決の結果は、
全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第4号議案**、
介護保険事業特別会計予算は、
介護サービス給付事業及び介護予防事業を
行うための経費が主なものであり、
別段異論なく、採決の結果は、
全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第5号議案**、
後期高齢者医療事業特別会計予算は、
後期高齢者医療制度に伴う事業を行うための
後期高齢者医療広域連合納付金が主なものであり、
別段異論なく、採決の結果は、
全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第6号議案**、
土地取得事業特別会計予算は、
先行取得に係る土地の買い戻しによる、
売り払い収入を一般会計に
繰り出しするものであり、
別段異論なく、採決の結果は、
全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第7号議案**、
曾我部山林事業特別会計予算は、
山林等の管理に要する所要の予算計上であり、
別段異論なく、採決の結果は、
全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第8号議案、水道事業会計予算**は、安全でおいしい水の安定供給を行うためのライフラインの機能強化として、
王子配水池はいすいち築造工事をはじめ、老朽管耐震化工事などが主なものであり、別段異論なく、採決の結果は、
全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第9号議案、下水道事業会計予算**は、公共用水域の水質保全と生活環境の改善を図るための処理場の改築更新工事等が主なものであり、別段異論なく、採決の結果は、
全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第10号議案、病院事業会計予算**は、市域に唯一の公立病院として安定した医療を提供するための医業費用が主な内容であり、別段異論なく、採決の結果は、全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

次に、**第11号議案から第40号議案までの、亀岡財産区ほか29財産区特別会計予算**は、関係地域における自治振興のための助成金、山林等の管理に要する財産管理経費等の予算計上であり、別段異論なく、採決の結果は、全30財産区特別会計 いずれも全員をもって原案可決すべきものと決定しました。

なお、新型コロナウイルスの影響が各般に広がりを見せており、予算執行にあたっては、状況を的確に見極め、執行保留も考慮しつつ、慎重かつ柔軟に対応されたいと考えるものであります。

以上が、本委員会に付託された議案の審査経過であります。

最後に、本市の財政状況は、依然として厳しい状況にあることに変わりなく、また、社会・経済情勢は、本年に入り急速に不安定さを増してきています。

このため、今後も、事業の取捨選択に、いっそう磨きをかけ、歳入確保に最大限努めながら、将来に渡り持続可能で、健全で安定した財政運営を基に、未来に輝けるまちづくりを望むものであります。

そして、市議会としても、これまで多くの先人がまちの発展に尽くされ、はぐくまれてきたこの亀岡に、今後も子どもから高齢者まで、あらゆる世代が安心して暮らせるよう、よりいっそうの決意と情熱をもって、全力でまい進していくことを、改めて決意し、予算特別委員会の審査結果の報告とします。